

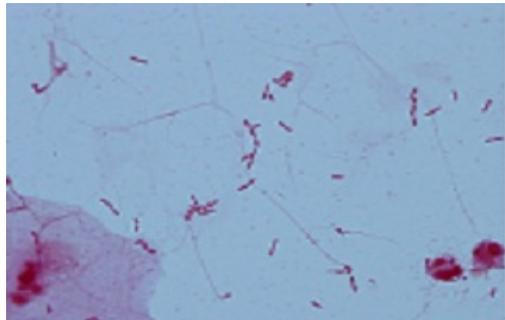
検体検査

細菌検査

細菌検査室では、主に細菌、真菌について詳しく調べる部署です。
ヒトの体内には病気の原因となる菌以外にも多くの菌が存在しています。
これらの菌がヒトに悪さをしているかどうかを鑑別するととても大切な検査です。

業務の流れについて

- 患者さんの検体(喀痰、尿、膿、血液、糞便等)に菌がいるかどうかを顕微鏡で調べます。(鏡検)



顕微鏡で尿中の大腸菌を観察しています

- 同時に提出された検体を培地に植えます。(培養)
- 培地に菌が発育したらどのような菌かを調べます(同定)
- 同定された菌にどのような薬が効くかどうかを調べます。
(薬剤感受性試験)



同定検査・薬剤感受性検査

細菌検査室より

院内の感染管理にも積極的に取り組み、[ICT\(感染制御チーム\)](#)のメンバーとしてMRSA(メシチリン耐性黄色ブドウ球菌)など多剤耐性菌の検出状況や抗生剤の耐性化傾向などサーベランスのための情報を集積し、院内感染防止対策にも寄与しています。